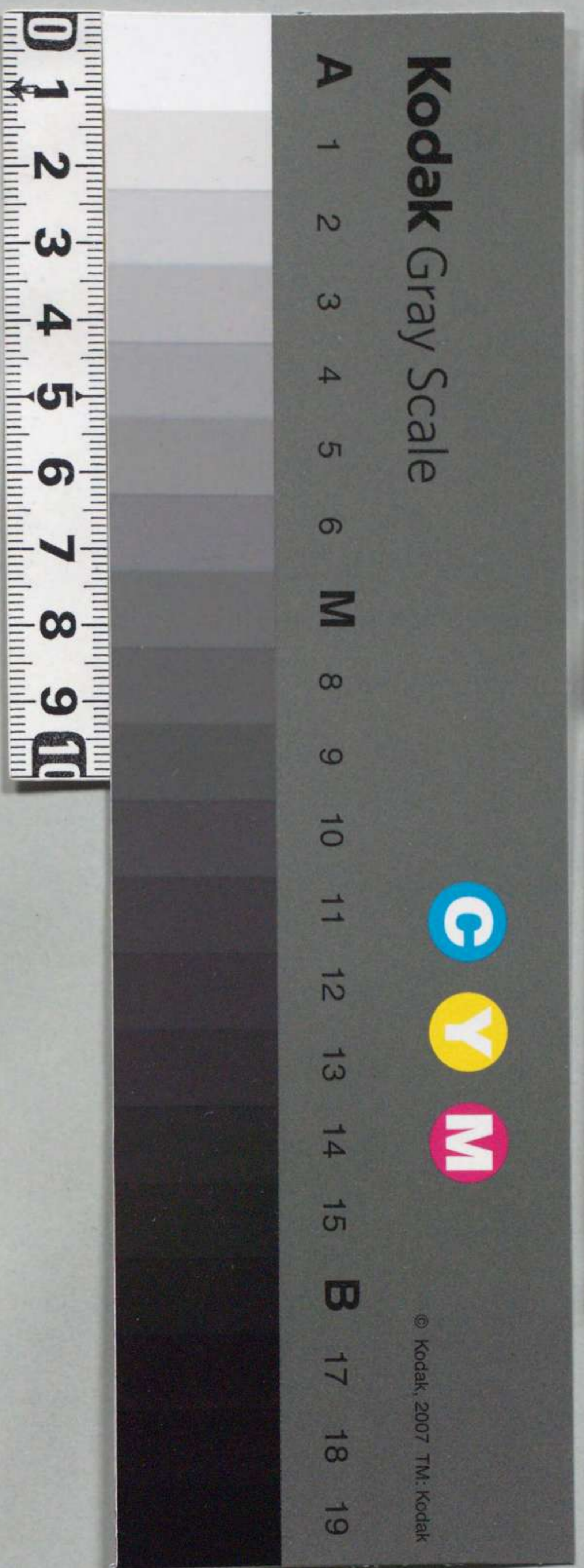
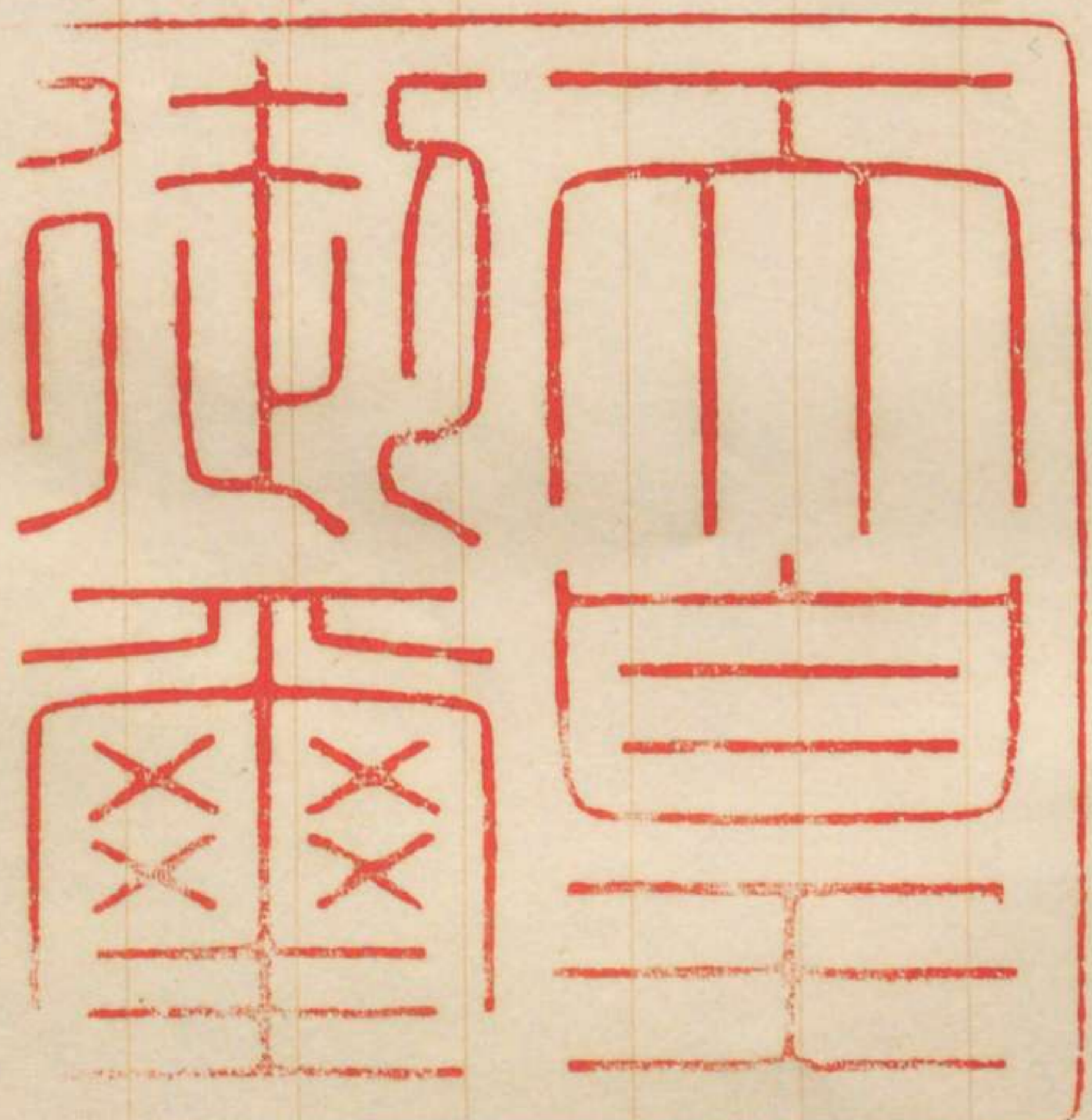


和合万七号



朕陸軍將校分限令中改正ノ件ヲ裁可シ  
茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十八年七月十二日

月

陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第百七號

陸軍將校分限令中左ノ通改正ス

第五條 豫備トハ左ニ掲ケル事項ノ一

ニ當ル者ヲ云フ

第一 旨ヲ諭サレ現役ヲ退キタルト

キ

第二 休職ニ入り五年ニ至リ就職セ

セザルトキ但第四條第二項ノ

第八第九ニ該ル者ハ此ノ限ニ

アラス

第三 停職ニ入り二年ニ至リ就職セ

サルトキ

第四 陸軍各部外ノ文官ニ専任シタ

ルトキ

第五 貴族院令第四條ニ依リ貴族院

議員ト爲リタルトキ

第六 一年志願兵ヨリ士官ニ任セラ

レタルトキ

第七 豫備准士官下士ニシテ士官ニ

任セラレタルトキ

第六條 後 掲クル事項ノ一

ニ當ル者

第一 年齢 至リ現役ヲ退キタ

ルトキ

第二 豫備満期 至リタルトキ

第三 後備准士官 士官ニシテ士官ニ

任セラレタルトキ

第八條ニ左ノ一項ヲ トキ

豫備後備ノ服役年期ハ別ニ之ヲ定ム



第三 停職ニ入り二年ニ至リ就職セ

サルトキ

第四 陸軍各部外ノ文官ニ専任シタ

ルトキ

第五 貴族院令第ニ依リ貴族院

議員ト為リ

第六 一年志願兵トシ士官ニ任セラ

レタルトキ

第七 豫備士官ニシテ士官ニ

任



第六條 後備トハ左ニ掲クル事項ノ一

ニ當ル者ヲ云フ

第一 年齢満限ニ至リ現役ヲ退キタ

ルトキ

第二 豫備満期ニ至リタルトキ

第三 後備准士官下士ニシテ士官ニ

任セラレタルトキ

第八條ニ左ノ一項ヲ加フ

豫備後備ノ服役年期ハ別ニ之ヲ定ム

